

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切かどうか	21			
	②	職員の配置数は適切であるか	17	4		指導員2名配置している。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	16	5		・車椅子用のトイレが設置されている。 ・バリアフリーの場所から出入りしている。
業務改善	④	業務改善を進められるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	16	2	2	その日にする会議での話し合いの内容をもとに子ども達と接し、実行している。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	19	1		保護者にも配布している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	17	2		ホームページにあげている。
	⑦	第三者による外部評価を行うために、評価結果を業務改善につなげているか	17	2		第三者委員に、男性2名・女性1名を設けている。
	⑧	職員の質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	21			月に一度研修を開いている。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	20	1		
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	19	2		6か月に1回または1年に1回使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	19	2		担当を決め、日付ごとにレクリエーションを決めている。

適切な支援の提供	⑫	活動プログラムが固定しないよう工夫しているか	17	4		季節の行事なども取り入れている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	18	3		
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービスを計画を作成しているか	18	4		
	⑮	支援計画前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われている支援の内容や役割分担について確認しているか	19	3		支援前に職員同士で集まり、支援や活動内容等を話し合っているが、送迎の都合により事前確認できないことがある。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	11	8	2	・支援終了後、気になったこと等を伝え合い、翌日の全体ミーティングでパートやアルバイトの方含め全員に共有する。 ・朝礼、昼礼は行っており、支援後少人数での打ち合わせを行うが、送迎に対応する支援員もいる為、行えないこともある。長期休暇中は日誌を活用しているが不十分。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	20	1		
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	20	1		6カ月に1回行っている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	19	2		冊子を準備し、全員が見れるように置いている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	19	1		糸島市に相談支援員が4・5名いる。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を	17	3		
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	4	9	8	現在は、医療ケアが必要な子どもが利用していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	9	11		利用する児童によって異なるが、親御様を通して様子を伺っている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	18	1		

関係機関や保護者との連携	②5	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	7	4	8	施設がない。
	②6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	4	2	13	コロナ禍以降、交流が行えていない。
	②7	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	13	4	1	
	②8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解をもっているか	19			
	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援をおこなっているか	16	3		モニタリングや面談の際に、心配事がないか尋ねたり、電話での相談にも対応を行っている。
保護者への説明責任等	③0	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	17	2		
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援をおこなっているか	17	2		
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	6	7	5	コロナ禍で実施できていなかったが、今年は卒所生の送る会を実施し、保護者との交流を行う。ただし、保護者は卒所生のみなので、保護者会ではない。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	17	2		苦情に対応する職員が滞在している。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17	2		2か月に1回おたよりを配布している。
	③5	個人情報に十分注意しているか	18	1		
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	1		絵カード等を使用し、子どもとの意思疎通を行っている。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	9	7	2	夏祭りの際に、地域の方にわたがしを提供してもらい、秋に芋ほりの体験を行った。
	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	14	4	1	保護者への周知ができていない可能性がある。

非常時等の対応	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	20	1		年に2回行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	21			年に一度行っている。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	19	1	1	現在は、身体拘束に該当する児童は利用していないが、身体拘束が必要な場合には、保護者に事前に説明を行い、了承を得ている。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもにおいて、医師の指示書に基づく対応がされているか	16	3	2	現在は、食べ物アレルギーのある子どもが利用していない。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	20	1		少しでもヒヤリとしたことを記録し、会議で報告している。